



北里大学 東洋医学総合研究所
臨床研究部 部長

及川 哲郎 先生

半夏厚朴湯の多彩な 臨床応用について



鹿島労災病院
副院長／和漢診療センター長

伊藤 隆 先生

半夏厚朴湯は『金匱要略』や『千金方』に記載されている漢方薬で、咽喉や食道部の違和感の改善だけでなく応用範囲が広い。

本日は、日常診療において気剤としての半夏厚朴湯の使用経験が豊富な北里大学東洋医学総合研究所の及川哲郎先生をお迎えし、半夏厚朴湯の多彩な臨床応用について、鹿島労災病院 和漢診療センター長の伊藤隆先生と対談していただいた。

咽喉違和感のみならず 胸部違和感にも

伊藤 半夏厚朴湯は『金匱要略』に「婦人咽中如有炙脔」と記載され、さらに『千金方』の婦人病篇にも「胸満心下堅、咽中帖々、如有炙肉脔、吐之不出、吞之不下、半夏厚朴湯主之」と記載されています。つまり、半夏厚朴湯は胸が張って鳩尾の所が硬く、喉の中に炙った肉片がはり付いたような感じがして、

吐こうにも吐けず、飲み下そうとしても飲み込めず、というような咽喉不利感に用いるとされています。

このような咽喉違和感は半夏厚朴湯を処方する際の重要な所見ですが、いくつかの臨床報告を見ますと必ずしも咽喉違和感のみならず、より広く使用され有効であることが確認されています。そこで本日は、気剤としての半夏厚朴湯の使用経験が豊富な及川先生と実際の症例を通して議論したいと思います。

それに先立ち、北里大学の東洋医学総合研究所では気剤を処方されるケースが非常に多いとお聞きし

ていますが、どの程度でしょうか。

及川 当研究所における頻用処方調べますと、1990年代初頭のベスト3は当帰芍薬散料、桂枝茯苓丸料、八味丸料で、半夏厚朴湯は16番目でした。しかし2008年には半夏厚朴湯がトップ処方になり、次いで八味丸料、十全大補湯となっています。

このような変化は当研究所の花輪壽彦所長が気剤の運用を得意としていることでもあります。やはり十数年前に比べ昨今では社会全体がストレス過多の時代になり、半夏厚朴湯のような気剤を必要とする病態が増えてきたという背景があるのではないかと考えています。

表1 主訴：胸部の違和感(40歳代 女性)

主訴	胸部の違和感
現病歴	約2ヵ月前からガスが多い。動悸がする。両脇が痛い。消化器内科を受診し、トリメブチンマレイン酸塩、ビフィズス菌、さらに血圧も高めのためロサルタンカリウム、ジルチアゼム塩酸塩の処方を受けていた。さらに心療内科も受診し、クロチアゼパム、ゾルピデム酒石酸塩の処方を受けていた。しかし、倦怠感、易疲労、下痢、食思不振が改善しないため当科受診した。
漢方的所見	初診時所見として、気力がない、集中力がない、風邪をひきやすい、眠れない、朝起きにくい、憂うつである、足が冷えて顔がのぼせる、急に動悸がする、げっぷが出やすい、お腹が張る、お腹がゴロゴロ鳴る。脈は緊張2/5。舌は乾燥白苔・紅。腹力3/5、心下痞鞭を認める。

認めませんでした。2ヵ月後には胸部の違和感が強く、胸がつかえる、げっぷがでるとすっきりすると訴え、腹部の鼓音が顕著であったため、半夏厚朴湯に転方しました。するとげっぷは軽減し、さらに2ヵ月後には易疲労も軽減しました。症状が改善したので、旅行に出かけた際にも薬を持参しなかったため症状が再燃しましたが、服薬を再開すると再び改善を認めた症例です。

及川 この症例は、咽喉違和感の訴えはなかったのでしょうか。

伊藤 ありませんでした。半夏厚朴湯処方の第一目標は咽喉違和感のある症例が多いのですが、『千金方』の条文の冒頭に「胸満」と記載されていることから、胸部の違和感に使用しても効果的であったと考えます。

及川 そうですね。実は、私も半夏厚朴湯を処方する際に、咽中炙燐つまり咽喉違和感があるかどうかよりも、むしろ身体症状の背景にある過敏症状や不安、神経症状を重視しています。

過敏症状や神経症状にも注目

伊藤 いろいろな身体症状の背景にある過敏症状や神経症状に注目して半夏厚朴湯を処方されているとのことですが、そのような症例をいくつかご紹介ください。

及川 咽喉以外の症状に着目した症例を紹介しません。まず、主訴として舌苔が気になるという50歳代の女性です(表2)。



1981年 千葉大学医学部 卒業
1986年 国立療養所千葉東病院 呼吸器内科
1993年 富山県立中央病院 和漢診療科 医長
1995年 富山医科薬科大学医学部 和漢診療学講座 助教授
1999年 同大学 和漢薬研究所 漢方診断学部門 客員教授
2001年 鹿島労災病院 メンタルヘルス・和漢診療センター長

伊藤 大きな変化ですね。先生の所ほどではありませんが、当院でも半夏厚朴湯の使用頻度は少なくはありません。

それでは半夏厚朴湯がどのような症例に有効か、実際の症例を通して考えてみたいと思います。まず私から、咽喉の違和感ではなく胸部の違和感を主訴とした40歳代の女性の症例を紹介します(表1)。

本症例はやや虚証気味ですが、当初は心下痞鞭に注目し甘草瀉心湯を処方しました。すると、下痢、倦怠感、動悸は軽減しましたが、食思不振は改善を

表2 主訴：舌苔が気になる(50歳代 女性)

主訴	舌苔が気になる
現病歴	数年前から舌苔が気になる、また口臭も気になるので歯科を受診したが、異常はないと言われた。胃腸はもともと丈夫ではない。
所 漢 見 方的	体格・腹力は中等度。 舌は湿・中等度の白苔と軽度の歯痕を認める。

本症例は神経質なタイプであり、同時に痰飲の傾向を認めましたので半夏厚朴湯を処方しました。すると2週後には舌苔が薄くなり、3ヵ月後には舌苔以外の症状も含め、全ての愁訴が改善しました。

伊藤 この症例は咽喉の違和感の訴えはなかったのでしょうか。

及川 咽喉の違和感はなく、何となく口腔の違和感、特に舌苔が気になるということでした。

伊藤 咽喉に限らず身体の一部が気になるという神経質な訴えがポイントですね。

及川 その通りです。私は、この症例のように身体の一部が何となく気になるというような訴えの方にファーストチョイスとして気剤をよく使用しています。この方も舌苔が気になるという背景には少し神経質な面があったと考えられます。

次は、頻尿を主訴とする30歳代の男性の症例を紹介します(表3)。

表3 主訴：頻尿(30歳代 男性)

主訴	頻尿
現病歴	数年前から頻尿気味で夜中トイレに3回起きるのが辛い。 仕事のストレスが多く、寝つきもよくない。 胸のつかえる感じ、お腹の張る感じが強く、上を向いて寝られない。
所 漢 見 方的	体格・腹力は中等度

本症例は咽中炙臍の訴えがありましたがそれ程強いものではなく、むしろ仕事のストレスが強く、お腹が張る感じや胸がつかえる感じが強いということでした。半夏厚朴湯を処方したところ、2週後にはお腹の張りがとれ、夜間尿も1回程度にまで減り、同時に上を向いて寝ることもできるようになりました。さらに服薬を続けると、睡眠も十分にとれるようになり、時々服用していたエチゾラムも不要となったという症例です。

本症例ではお腹の張りという感覚が過敏な状態になり、それが頻尿という主訴につながったと考えます。事実、過活動膀胱という病態には膀胱の知覚過敏が関与している場合もあることから半夏厚朴湯が有効なことが多いです。

伊藤 腹部の知覚過敏も同じように捉えることができるということですね。ところで、半夏厚朴湯の使用に腹部の鼓音を目安にするという考え方がありますが、先生はどのように考えられますか。

及川 腹部の鼓音も重要ですが、必ずしも鼓音がなくても、より自覚的な「お腹が張る」という症状を目安にして使用してもよいのではないのでしょうか。



1986年 浜松医科大学医学部 卒業
1990年 国立がんセンター研究所 リサーチレジデント
2002年 東京専売病院(現 国際医療福祉大学三田病院)内科 部長
2008年 北里大学 東洋医学総合研究所 臨床研究部 部長

伊藤 なるほど。半夏厚朴湯の厚朴にはもともと腹満をとる働きがありますからね。では、半夏厚朴湯は腹部への作用と神経への作用のどちらがメインと考えておられますか。

及川 われわれは半夏厚朴湯が消化管機能を賦活し腸管ガスを減少させると同時に、交感神経の機能が亢進しているような方ではその亢進を鎮める作用があるということをすでに報告しており、両方の作用が重要であると理解しています¹⁾。

伊藤 よくわかりました。それでは次の症例をご紹介

介ください。

及川 半夏厚朴湯が耳鳴りの症例に効果的であった症例を紹介します。症例は60歳代の女性で、主訴は耳鳴りと嗅覚異常です(表4)。

表4 主訴：耳鳴り、嗅覚異常(60歳代 女性)

主訴	耳鳴り、嗅覚異常
現病歴	3年前から右耳鳴りが出現。1年前からは嗅覚の異常も出現し、焦げ臭いにおいしわからなくなった。耳鼻咽喉科で精査を受けたが原因不明とのこと。漢方治療を希望して来院。表情が大変硬い。
所 漢 方 的 見	体格・腹力ともに中等度、それ以外にはとくに目立った所見はなかった。

本症例は主訴ではありませんでしたが、咽の違和感も訴えましたので半夏厚朴湯を処方しました。すると、主訴の耳鳴りや嗅覚異常ではなく、疲れや肩こりなどが改善し体調がよくなったということでした。同時に表情も明るくなり、服薬を始めて約半年後から、食事もおいしくなり、耳鳴りや臭いも気にならなくなったということです。半夏厚朴湯による気の調節が全身の症状改善につながったと考えられるのではないのでしょうか。

伊藤 耳鳴りは3ヵ月以上も治療を続けていると、もう治らないものと諦めてしまう患者さんも少なく、漢方治療でも難渋することが多くあります。この症例のように数年前から悩んでいた耳鳴りが、全身症状の改善とともに気にならなくなったというのは大変驚きです。

及川 当研究所では耳鳴りに半夏厚朴湯を使用して改善を認める症例を多く経験しています。特に咽中炙嚙や舌に歯痕を認めるような患者さんでは非常に効果的であるという印象をもっています。

伊藤 とても参考になります。是非、試してみたいと思います。

次の患者さんはどのような症例ですか。

及川 下痢を主訴とする60歳代の女性に半夏厚朴湯が効果的であった症例があります(表5)。この症例は咽の違和感を訴えませんでした。

本症例は下痢の訴えがメインでしたので、まずその治療をすることを考えました。しかし診察の際、非常に神経質で、家の戸締りなどが気になるといった強迫神経症のような印象を受けましたので、とりあえず患者さんの不安感を和らげ、コミュニケー

表5 主訴：下痢(60歳代 女性)

主訴	下痢
現病歴	以前から下痢をしやすいかった。さらに数年前からは毎日2回下痢をするようになった。内視鏡検査では小さな良性のポリープを認めるのみで特記すべき異常はなかった。 家の戸締りなどが気になり、不安感が強い。時にお腹が張る。
所 漢 方 的 見	体格・腹力ともに中等度であり、舌に歯痕が付きやすいと訴える。

ションをスムーズにする目的で、気剤の投与を考えました。半夏厚朴湯を処方して1ヵ月後、不安感が少し改善されるとともに下痢も月に2回程度まで減少しました。2ヵ月後には気力も出て食事が作れるようになり、4ヵ月後には下痢も完全に改善したという症例です。

伊藤 この症例では初めから半夏厚朴湯で下痢の治療を考えただけではなく、気剤でとりあえず様子を見ようとしたわけですね。

及川 その通りです。しかしこの症例では予想外の効果がみられました。また、目の前にある症状の背景にある神経症的な雰囲気や身体の随所の「知覚過敏傾向」の有無が大切であり、半夏厚朴湯はそのような症例には非常に有効だということを再認識しました。

つまり、知覚過敏が原因で、お腹が張る、耳鳴りがする、あるいは膀胱の過敏で頻尿になるなどの症状を呈していると考えればよいのではないのでしょうか。もちろん、咽喉の違和感も同じです。

伊藤 大変応用範囲の広い半夏厚朴湯ですが、何か副作用を含めて注意すべき点はあるのでしょうか。

及川 麻黄などのように特別に注意が必要な生薬も含まれていませんので、非常に使いやすい処方だと思います。ただ、燥性が強いですから、高齢者や乾いているような体質の方には注意して使用するべきでしょう。

伊藤 ところで同じように「気剤」としてよく使用されている漢方薬として香蘇散がありますが、半夏厚朴湯と香蘇散との使い分けについてはどのように考えればよいのでしょうか。

及川 実は、香蘇散も当研究所では最近、使用頻度が非常に高くなっている漢方薬の一つです。同じように使用されることもあります。鑑別兆候として、咽喉頭異常感症を認める場合はまず半夏厚朴湯ですが、それだけに捉われず、局所の過敏症状、つまり

狭心症様の症状や喘息様の症状などの兆候を認める場合は半夏厚朴湯が有効です。また、当院では問診票などにびっしりとご自身の症状を非常に几帳面に書かれる方を「メモの証」と呼んでいますが、このような几帳面な方も典型的な半夏厚朴湯の証と考えています。それに対し、香蘇散は少し虚弱で、何よりもうつ状態の方には有効です(表6)。

表6 半夏厚朴湯と香蘇散の鑑別ポイント

	半夏厚朴湯	香蘇散
虚実	より実証	より虚証
腹診	心下痞硬、腹満	軟弱無力 臍傍動悸
年齢	若年(ストレス世代)	中高年
鑑別兆候	咽喉頭異常感症 狭心症様症状、喘息様 症状 腹満、腹痛、めまい 神経質、几帳面	食事性蕁麻疹 うつ状態 腹満、腹痛 かばそい声 小さな文字
心理傾向	心理的葛藤を身体表現 に開放する	心理的葛藤が内向し、 鬱々悶々としている

(花輪壽彦：漢方診療のレッスン p407(一部改変), 1995)

同じ気剤でも、半夏厚朴湯はどちらかというところに進んでいる機能を抑える作用があり、一方、香蘇散は低下している交感神経機能を正常なレベルまで引き上げる作用があると考えています。

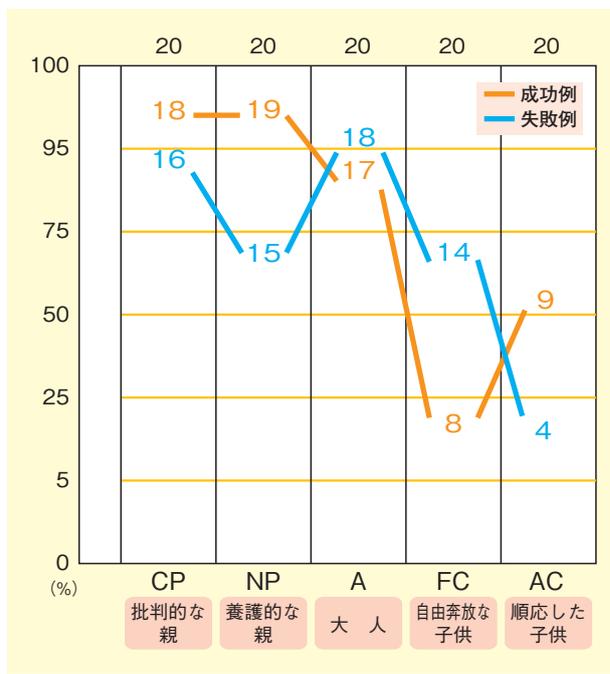
エゴグラムの利用による治療効果の予想

伊藤 半夏厚朴湯はこれまでご紹介いただきましたような症状だけでなく、もっと広く使用され有効性が報告されています。たとえば誤嚥性肺炎に使用して嚥下反射が改善したという報告や、パニック障害に対する使用報告もあります。

とはいえ万能薬ではありません。そこで、半夏厚朴湯による治療が成功するか否かを判断する方法として、最近、興味を持っていますエゴグラム²⁾のデータについて簡単に紹介します。

当科では初診時に患者さんに20項目程度の間診票を記していただいております。メンタルヘルスに支障のある患者さんにはエゴグラムによる検査も追加しています。エゴグラムは50の質問からなり5つのカテゴリーに分けられ、それぞれ意味づけがされています。

図 半夏厚朴湯による治療成功例と失敗例のエゴグラム



このエゴグラムの結果を同じような背景を持ちながら治療効果の全く異なった患者さんと比較しますと、図に示すように、FC (Free Child; 自由奔放な子供) や AC (Adapted Child; 順応した子供) というカテゴリーで大きな違いがありました。つまり、治療成功例では AC (不快なことでも無理に我慢し、遠慮がちで消極的なカテゴリー) が高いのですが、治療失敗例では AC が低く FC が高い、すなわち医師の言うことを聞くことができない状態を示しています。まだ始めたばかりですが、このような方法を利用することで、漢方治療の有用性をあらかじめ予想できるようになれば興味深いと考えています。

及川 半夏厚朴湯が有用である患者さんの背景には神経質な気質がありますので、何か共通するものがあるような気がします。面白いですね。

伊藤 ありがとうございます。本日は、気剤である半夏厚朴湯の臨床応用について広範なお話をうかがいました。半夏厚朴湯の目標は基本的には咽喉違和感ですが、それだけに捉われず身体症状の背景にある過敏症状や神経症状に注目して使用することがポイントとのことでした。気剤の有効活用の参考にしていただけると幸いです。

参考文献

- 1) 及川哲郎ほか：半夏厚朴湯の使用目標とその臨床効果との関連について - 機能性ディスぺプシア患者における検討 - 日東医誌 59(4): p601-607, 2008.
- 2) 芦原睦：自分がわかる心理テスト(ブルーバックス) 講談社 東京 1992.